

第19回浜岡地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 開催日時

令和7年3月18日（火）10:30～12:00

2. 開催場所

静岡県庁 別館5階 危機管理センター西側及びTV会議

3. 参加機関

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、経済産業省資源エネルギー庁、
経済産業省中部経済産業局、
国土交通省大臣官房参事官（運輸安全防災）付、
国土交通省中部地方整備局、
海上保安庁第三管区海上保安本部清水海上保安部警備救難課
- (2) 関係自治体等 : 静岡県、御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市、吉田町、
袋井市、島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、森町、
静岡県警察本部、中部電力株式会社、中日本高速道路株式会社
- (3) 庶務 : 内閣府 沖田推進官、林田推進官、伊藤補佐、相馬専門官、
小林主査、原田防災専門官

4. 議 題

- (1) 関係自治体の避難計画等を踏まえた対応について
(2) 令和6年度静岡県原子力防災訓練における実施結果の報告
(3) その他

5. 配付資料

- ・資料1「浜岡地域関係自治体の避難計画等を踏まえた対応について（案）」
- ・資料2「原子力防災訓練の実施結果（静岡県）」

6. 概 要

- (1) 関係自治体の避難計画等を踏まえた対応について
- 内閣府から、資料1に基づき、PAZ内の御前崎市、牧之原市の全面緊急事態における対応及びUPZ内の掛川市、菊川市における対応として、各地区における具体的な避難経路等について説明した。
 - 静岡県から、今回避難経路が提示された市以外の市町についても、今後具体的な避難経路等を内閣府で整理していくことになると思うが、関係機関や広域避難先との調整が進んでいない等、具体化が進んでいないところもあり、そういった地域の避難経路はどのように提示していく予定か質問があった。
- それに対し、内閣府から、静岡県・市町と適宜調整を行いながら、具体的な避難経路等を提示していきたい旨、説明した。

○中日本高速道路株式会社から、今回提示された避難経路の中に、避難退域時検査場所として、高速道路上のパーキングエリアやサービスエリアの記載があるが、これは今回初めて提示されたものか質問があった。また、UPZの掛川市と菊川市の避難者数はどれぐらいを想定しているか質問があった。

それに対し、内閣府から、今回提示した避難退域時検査場所については、各自治体の広域避難計画等を踏まえたものであり、すでに公表済みの情報である旨、説明した。また、UPZ内の避難する住民数については、原子力災害対策指針のOIL2を超える地域の住民が対象となるため、具体的な人数は明示できないが、UPZ内の住民については、それぞれ関係市町の避難計画や静岡県内の浜岡地域原子力災害広域避難計画にて公表済みである旨、説明した。

また静岡県からも、避難退域時検査場所については、平成28年3月の浜岡地域原子力災害広域避難計画の策定時に、中日本高速道路株式会社と調整のうえ協定を締結し、公表済みである旨、説明があった。

○牧之原市から、同じ高速道路上に2箇所以上の避難退域時検査場所が設定されている場合の運用について質問があった。

それに対し、内閣府から、例示として、他地域の原子力防災訓練において、避難元の地区ごとで使用する避難退域時検査場所を指定する等、円滑な避難を行う運用等がある旨、説明した。

また原子力規制庁から、避難退域時検査場所については、候補地を複数準備しておき、実災害時には、被災状況等も考慮して、円滑に避難が行える一箇所を使用するのが一般的である旨、説明があった。

○掛川市から、今回提示された避難経路上の避難退域時検査場所以外への避難退域時検査場所の設置予定について、質問があった。

それに対し、静岡県から、浜岡地域原子力災害広域避難計画上、国道1号等の避難退域時検査場所については「調整中」との記載になっているため、緊急時対応を取りまとめるまでには調整を終えておく必要がある旨、説明があった。

(2) 令和6年度静岡県原子力防災訓練における実施結果の報告

○静岡県から、資料2に基づき、令和7年1月29日および2月2日に実施された、静岡県原子力防災訓練の実施結果について説明があった。

○菊川市から、訓練当日の研修者として参加した際の気づき事項として、事前に共有された資料と実際の現場状況のマッチングができていなかったり、訓練内容のアナウンスが実施されなかったため、何が行われているのかが分かりづらく感じた。今後は、訓練中に現在どういう状況なのかを適宜アナウンスする等、分かりやすい訓練の実施をお願いしたい旨の要望があった。

それに対し、静岡県から、今回の訓練では天候に恵まれなかったこともあり、

事前の想定どおりに進まなかったところもあったが、今後は事前に多くのことを想定し、意義のある訓練実施に努めたい旨、説明があった。

○島田市から、静岡サービスエリアでの訓練に参加したが、多くの方がいて、誰がどこの所属なのか分かりづらかった。実災害時は難しいかと思うが、訓練時は分かりやすくすることはできないか、要望があった。

それに対し、静岡県から、いただいた意見を活用しつつ、今後の訓練を有意義なものにしていきたい旨、説明があった。

○内閣府から、今後、浜岡地域の緊急時対応取りまとめに向けて、静岡県原子力防災訓練の結果を、静岡県・市町が作成している広域避難計画等の実行性を高めるために、どのように改善していくか検討頂くとともに、今後の浜岡地域における国の原子力総合防災訓練の開催を見据えて、今後更なる訓練内容の充実化を進めていただきたい旨、要望した。

(3) その他

○牧之原市から、次回以降の作業部会の議題は現時点で決まっているのか、質問があった。

それに対し、内閣府から、静岡県・市町との調整の中で今後、作業部会の議題を決定していく旨、説明した。

以 上